

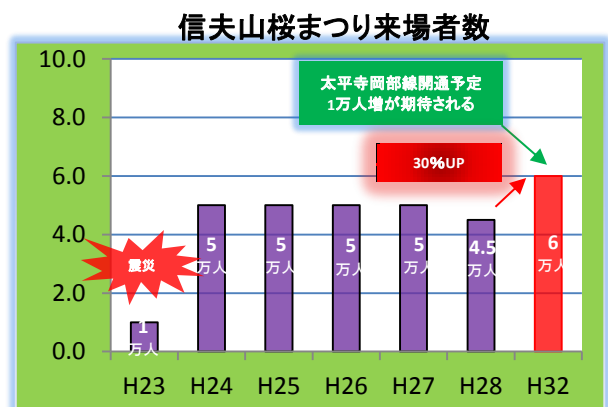
道路ストック効果

国道4号と国道13号を結ぶ環状道路に！



- 主要幹線国道である国道4号と国道13号を結ぶ環状道路であり中心市街地へのアクセス向上を図る。
- 緊急輸送路線にも位置づけられ、災害時の物資受入、緊急車両の通行、市内各地域への物資配給路線として期待される。
- 都市公園である信夫山公園で開催されるイベントや花見山との連携等アクセス道路として期待される。
- 広域避難所(信夫山公園)へのアクセス強化、ドクターヘリ離着陸場への輸送路としても期待される。

- ◇街路整備による緊急輸送路のネットワーク強化！！
- ◇都市公園で開催されるイベントへの交通アクセス性が向上！



安全安心な通学路を目指して！



都市計画道路 曾根田町桜木町線 (福島市)

◇通学時間帯に交通量が多く危険！！



現在の通学状況

○現在、小学校3校(四小、附属小、桜の聖母小)77名の児童が通学路として利用している。
 ○福島市通学路安全推進会議にて、緊急合同点検を実施し、要対策箇所となっている。

【指摘事項】

・通学時間帯に交通量が多いことや道路が狭く歩道がないため危険

【対策内容】

・歩道の設置

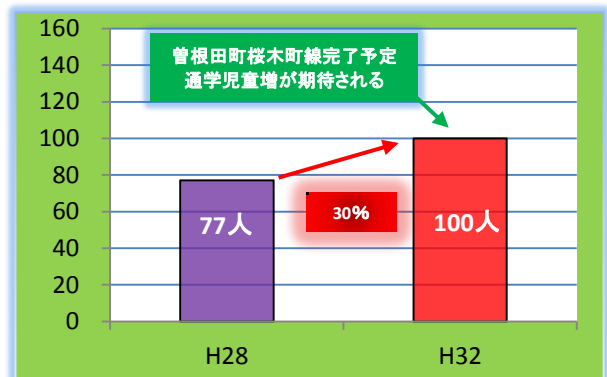
○自転車専用通行帯を設置し、歩車分離により、通学児童の安全が確保される。

◇街路事業で歩道を設置することより通学児童が増加！！！！

歩道が設置されれば、他の道路を通学している児童もここを通るように指導できる。
 児童の安全のために、早期の歩道設置をお願いします。



通学児童数



※H28通学児童数は小学校3校への聞取による

安全安心な通学路を目指して!



◇通学時間帯に交通量が多く危険!!



○現在、第一小学校27名の児童が通学路として利用している。
 ○福島市通学路安全推進会議にて、緊急合同点検を実施し、要対策箇所となっている。

【指摘事項】

・通学時間帯に交通量が多いことや、道路が狭く歩道がないため危険である。

【対策内容】

・歩道の設置

○市内循環バス・高速バスの路線となっている。

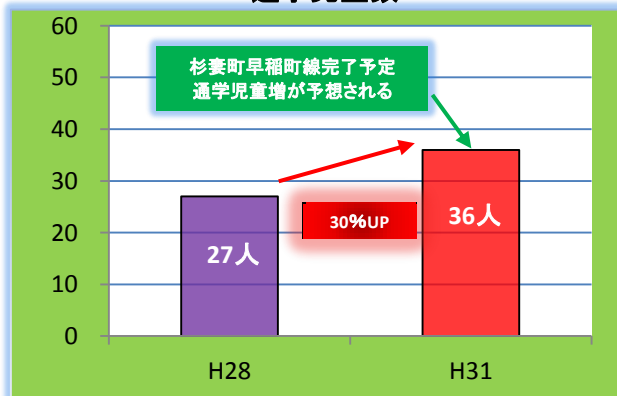
◇関連事業により通学児童と交通量が増加!!!

○関連事業により、居住人口が増加し、通学児童が増加する。

○関連事業と連携することで、中心市街地の回遊性が向上し、交通量が増加する。



通学児童数



※H28通学児童数は小学校への聞取による

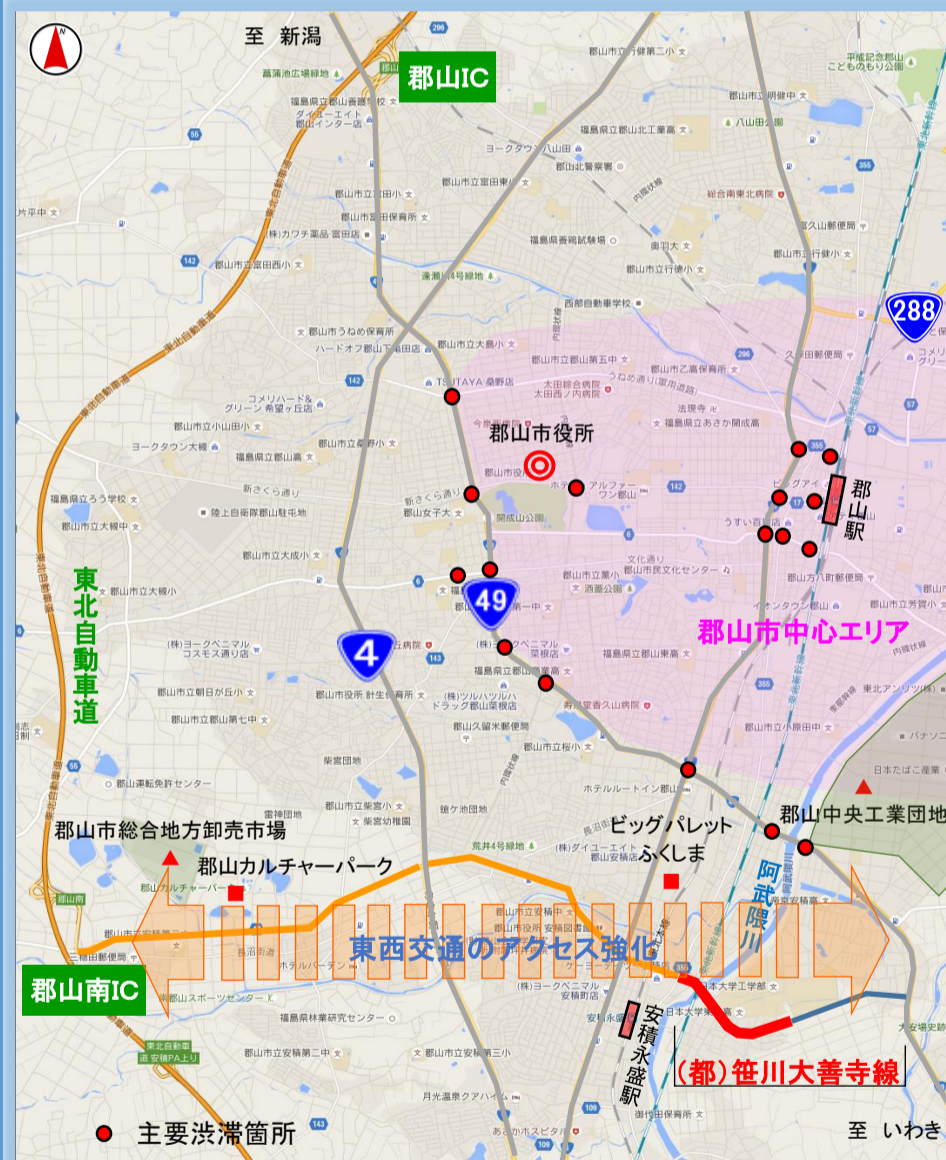
ストック効果

国道49号の渋滞緩和に寄与 いわき方面から郡山南ICの新たなアクセスに！



*黄色は徳定土地区画整理事業地内

（都）笹川大善寺線



○東西を往来する通過車両が郡山市中心エリアを避けて移動できる

⇒国道49号の渋滞が緩和されることで移動時間の短縮になり、輸送費の低下等生産性の向上につながる。

また、CO2削減による環境負荷の低減が見込める。

⇒郡山南IC⇄郡山中央工業団地のアクセス性の向上により、立地競争力の強化につながる。

国道49号(阿武隈川付近)の交通量
平成22年

22,730台/日

約2割減

平成42年

17,900台/日

出典：H22道路交通センサスデータ

出典：第2回郡山都市圏パーソントリップ調査

○東部地域と郡山南ICが直結

⇒広域的な輸送ルート確保が可能になり、産業の生産性が向上する。

○広域的なアクセス性が向上

⇒六次化産業に寄与する等郡山市東部・南部地区の生産力の活性化が図られる。



国道49号渋滞状況



郡山南インターチェンジ



ビッグデータふくしま



郡山中央工業団地

ストック効果

～郡山都市圏道路ネットワークの 形成に向けて～



(都)内環状線

施工後



施工前

- 国道288号BP開通に伴い、郡山市と浜通り方面のアクセス性が向上
⇒骨格幹線道路である内環状線の整備を進めることにより地域間交流の増進を図る
国道288号+国道288号BPの交通量
11,057台/日 約4割増 16,003台/日 ⇒内環状線を利用して郡山市内を往来することで
交流人口増大、市内での消費拡大
- 郡山都市圏住民が利用する救急病院への到達時間が短縮
⇒救急救命時に高度医療による治療機会が向上
- アクセス性向上により美術館や史跡公園等、
文教施設での賑わい増進に寄与
- 郡山駅東口の利用に貢献⇒郡山駅周辺の活性化へ



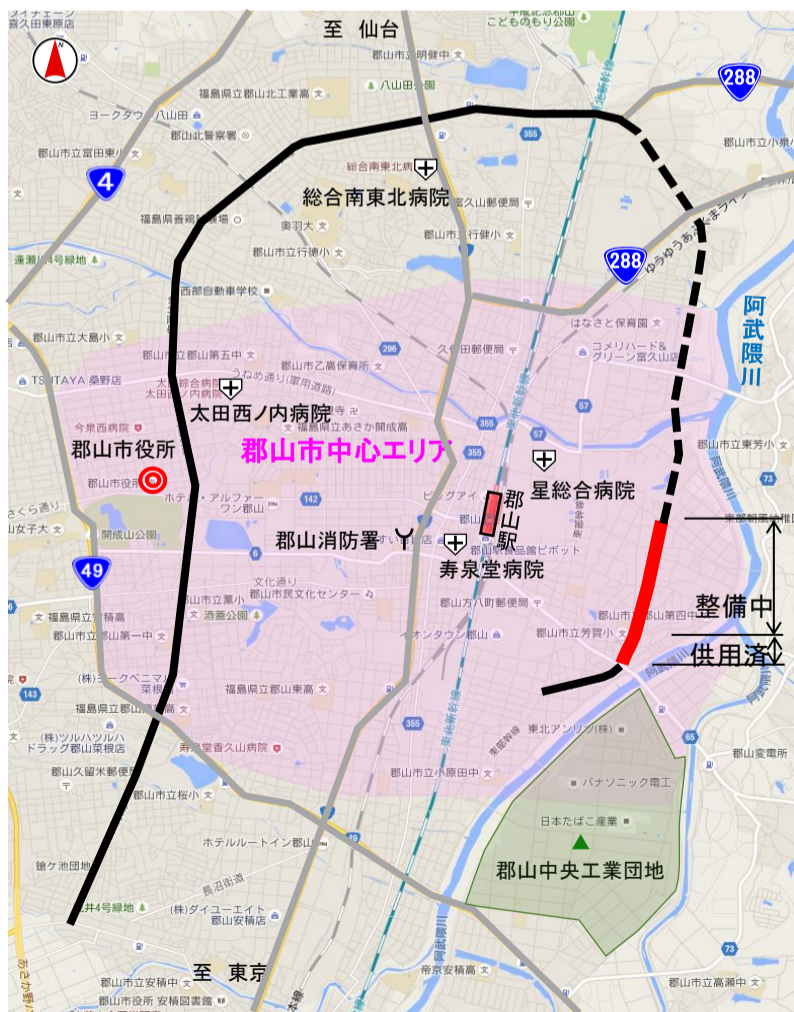
郡山中央工業団地





大安場史跡公園
(国指定史跡名勝天然記念物)



郡山駅東口完成イメージ



 病院
 消防署

ストック効果



法指定踏切の除却・立体交差
⇒交通の円滑化、安全性の向上により移動時間の短縮、周辺居住環境の向上へ



国の成長戦略の一つである医療産業分野の事業を推進するため、拠点周辺のアクセス性を高め、産業交流や関連企業の進出を目指す

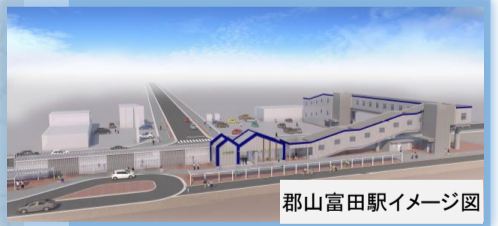
ふくしま医療機器開発支援センターイメージ図



国道288号とアクセス
⇒市中心部と田村・相双三春方面の交通網強化

郡山都市圏住民が利用する救急病院への到達時間が短縮

新駅(郡山富田駅)の開業により新たな交流人口が生まれ、「陸の港」郡山のさらなる発展が期待される



郡山富田駅イメージ図



国立研究開発法人産総研 福島再生可能エネルギー研究所

- 主要渋滞箇所
- ⊕ 病院
- Y 消防署

ストック効果

郡山市の交通結節点機能の強化

～すべての人が使いやすい東口へ～



郡山駅東口整備事業

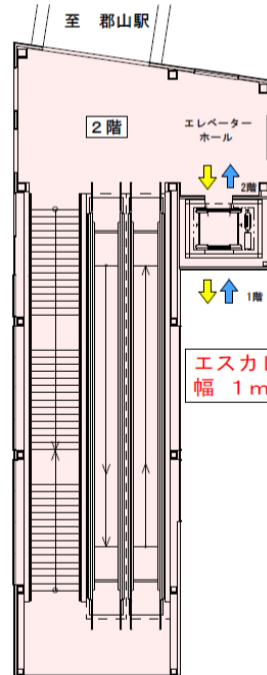


完成イメージ

- 東口に昇降施設を設置することですべての人が安全・快適に利用することができる
⇒ 安積疏水・安積開拓等の日本遺産認定や東京五輪開催により増加が見込まれる観光客に対応、観光消費の拡大も期待できる。
- 市東部地域及び三春・田村方面からの郡山駅東口利用者増加が期待される
(整備後利用者2割増へ) ⇒ 郡山駅周辺の賑わい増進へ
- 西口との機能分担により東口周辺に新たな都市機能を誘導 ⇒ 商業の拡大・活性化



再開発ビル「ビッグアイ」



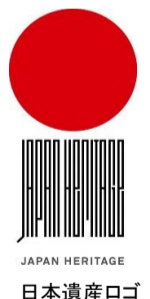
エレベーター
13人乗り
(積載 900kg)
車いす対応
幅 1600mm
奥行 1350mm
高さ 2300mm

エスカレーター
幅 1m 上下

JR郡山駅1日利用者数
(1日平均乗車数)
17,931人/日(H25)
郡山駅東口利用者数
(H27.9.16 7時～19時調査)
5,168人/12h
⇒ **6,200人/12h(2割増)**



郡山市イメージキャラクター
がくとくんとおんぶちゃん



JAPAN HERITAGE
日本遺産ロゴ



猪苗代湖



十六橋水門

道路ストック効果



国道4号の渋滞緩和 市街地西部と郡山市を結ぶ新しいアクセス道路！



◇交通の分散化により、国道4号の渋滞緩和に期待！

《国道4号線(滑川付近)の交通量》

平成22年	約1割減	平成42年
49,858台/日		44,186台/日
出典: H22道路交通センサスデータ		出典: 第2回郡山都市圏パーソントリップ調査

- ・国道4号の補完道路として整備⇒渋滞緩和、災害緊急時の代替路線としての機能に期待。
- ・市道 I - 2号線の通勤、通学時の慢性的な渋滞の解消にも期待。

◇市街地西部と郡山市のアクセス性の向上！

- ・須賀川IC、山寺土地区画整理事業地内を含む市街地西部から、郡山南ICやコスモス通りまでのアクセスが道路1本で可能に⇒郡山市との連携を強化。



↓ 至 須賀川IC・山寺土地区画整理事業地内

道路ストック効果

白河市の市街地回遊性の向上



都市計画道路 乙姫桜プロムナード2号線
(福島県白河市)

◇平成28年10月開館の白河文化交流館コミネスに接続する街路整備により歩行系ネットワークを拡充し、回遊性と利便性が向上！



建設中の白河文化交流館コミネス



事業中の乙姫桜プロムナード2号線



現況写真

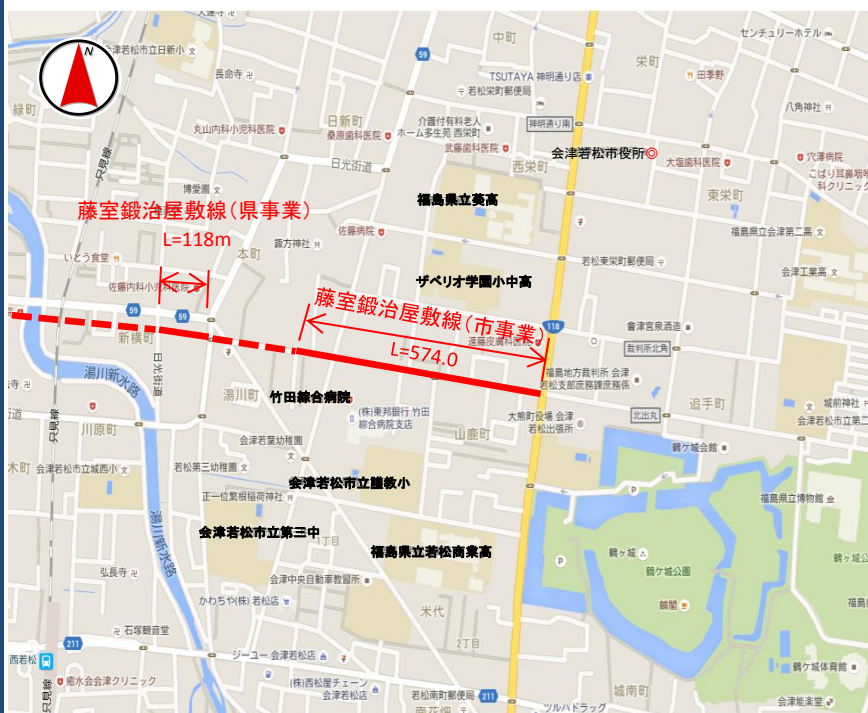


整備後のイメージ写真



◇通学路の安全確保！第二次緊急輸送路の確保！

- 街路事業による安心安全な空間を整備
(空間整備率 H29:0.16ha → H32 0.92ha)
- 狭隘な歩道により支障が出ている謹教小学校通学路の安全を確保する
(通学路利用生徒数 H29:14.1% → H32:27.0%)
- 第二次緊急輸送路の確保により(財)竹田総合病院及び周辺地域への車両及び緊急物資のスムーズな移動を確保
(第二次緊急輸送路整備率 H29:15.7% → H32:100%)



道路ストック効果



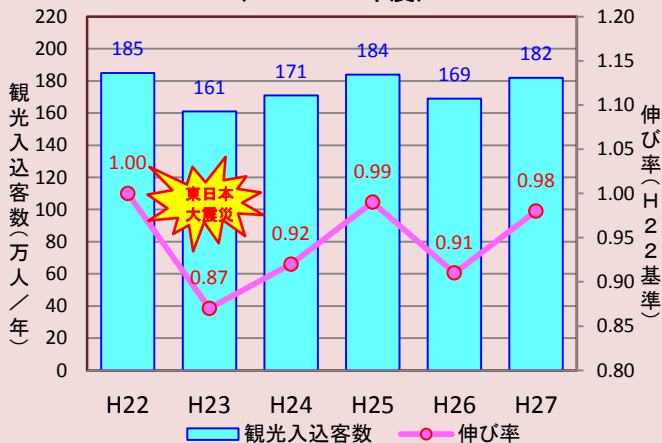
喜多方を訪れる観光客の8割以上はまちなかに立ち寄り(その約9割はラーメン目当て)、会津若松や磐梯とセットで来訪される方が多い。
(新・喜多方市観光戦略策定調査報告書(H19.3)より)



緊急輸送道路の無電柱化により、賑わいと思いやりのある災害に強い活力ある都市づくりへの効果に期待。



喜多方市の観光入込客数の推移 (H22～H25年度)



都市の防災機能の向上



避難場所への避難路、復興公営住宅等へのアクセス路、緊急輸送路の整備により安心安全のまちづくり

都市計画道路 環状1号線(南相馬市)
都市計画道路 駅前北原線(福島県)



駅前北原線



小高区復興文化祭



相馬野馬追

○災害公営住宅、復興公営住宅から平成32年度に東京駅まで再開通する原ノ町駅と中心市街地への円滑なアクセス、人・車の回遊性向上による復興や交流・賑わいの再創出が期待される。
○災害時の避難路及び輸送路を確保することにより、地域の防災機能を高め、住民の安全を守るとともに、快適な街路空間により、利便性を高め、住民生活の質の向上を図る。



歩行者・自転車の安全な通行空間を確保！ いわき駅北口交通広場へのアクセス強化！

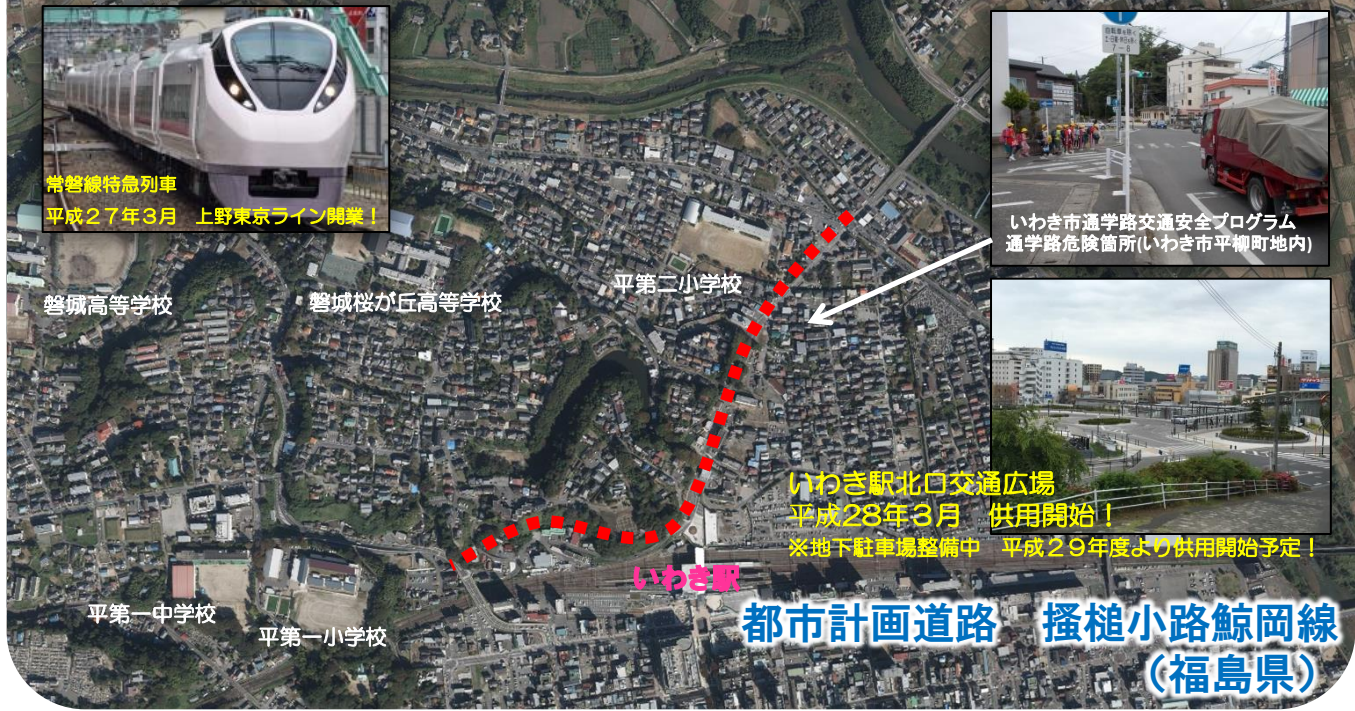
平商業高等学校



常磐線特急列車
平成27年3月 上野東京ライン開業！



いわき市通学路交通安全プログラム
通学路危険箇所(いわき市平柳町地内)



磐城高等学校

磐城桜が丘高等学校

平第二小学校

平第一中学校

平第一小学校

いわき駅

いわき駅北口交通広場
平成28年3月 供用開始！
※地下駐車場整備中 平成29年度より供用開始予定！

都市計画道路 搔榎小路鯨岡線
(福島県)



通学路等の生活空間における安全・安心な道づくりを実現！

Before

▶▶▶ After

- ▶ 近隣の学校に通う児童・生徒が安全に通学、スムーズな車両通行
- ▶ 歩行者・自転車の分離により、さらなる安全性向上に期待
- ▶ いわき駅北口交通広場と連結し、公共交通機関の利便性向上

